



地域医療を守る共同行動 みやぎ連絡会 News

2020.09.04.Fri No.1
*報道紙抜粋のため組織内資料扱い

発行／地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会事務局
〒983-0047 仙台市宮城野区銀杏町39-18 (民医労内)
Tel 022-782-0633 / FAX 022-782-0634

〈医療を巡る県内の動き/報道より〉

刈田、県南中核の医療連携プラン異論出ず 宮城県医療調整会議

https://www.kahoku.co.jp/tohokunews/202009/20200901_11026.html

2020.09.01 河北新報

宮城県地域医療構想調整会議（仙南区域）の本年度第1回会合が31日、大河原町であった。公立刈田総合病院（白石市）とみやぎ県南中核病院（大河原町）の医療連携について、刈田総合がリハビリや透析治療などの「回復期」、県南中核が救急や高度医療などの「急性期」を担う連携プランを、県などが説明。参加者から異論は出なかった。

プランは仙南地域で今後、回復期と在宅医療の需要が大幅に増加すると見込む。県南中核は、現在未使用の病床47床を再利用して急性期に対応する。

2019年度300床の刈田総合の病床は21年度に199床に。常勤医は25人から18人、看護師は177人から118人、医療技術者は82人から75人に減らす。

7月に白石市と七ヶ宿町であった住民説明会でも示された。

会議には県や東北大、両病院に加え、仙南地域の医療関係者が出席。刈田総合を運営する白石市外二町組合管理者の山田裕一白石市長も初めて参加し、市が検討中の病院公設民営化について「仮に公設民営になっても行政として回復期の機能を果たせるよう注文を付けていく」と述べた。

宮城・登米市民病院が新築移転構想 市役所周辺に

<https://www.asahi.com/articles/ASN8V3QV2N8TUNHB00H.html>

2020.08.26 朝日新聞

宮城県登米市は25日、老朽化している市民病院を市役所周辺に移転新築する構想を明らかにした。市役所周辺の施設を再編する一環で、図書館や健康づくり施設の整備も検討。ただ、まだ計画のたたき台という位置づけで、議会や市民の意見を踏まえて具体化を目指す。

この日開かれた市議会全員協議会に、中心拠点施設再編の骨子案として報告した。市によると、市民病院の本館は築30年近くたち、電気設備が地下にあるため、浸水被害で業務継続に支障が出る恐れがあるという。医療機器も約8割が更新時期を迎えている。

今年度、国の市街地再生事業の対象要件が拡大され、市役所周辺の整備事業にも国の交付金を活用できる見通しがついたという。

市民病院の移転新築の事業費は概算で100億円程度を見込んでいる。

また、骨子案では、5年後に市民病院を移転新築した後、今ある病院の建物を改修して市役所本庁舎とする計画もある。2005年に9町が合併して誕生した登米市は、庁舎が3カ所に分散。事務の効率化を図るため、統合する方向で検討するという。

次回：地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会事務局会議 10月13日（火）15:00- 医労連会議室